

平成26年2月15日に千葉県旭市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

平成26年2月15日09時過ぎに千葉県旭市横根（よこね）から三川（さんがわ）にかけて突風が発生し、屋根瓦のめくれや落下などの被害が発生しました。

このため16日、銚子地方気象台は職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・ 被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・ 被害や痕跡の分布は、断続的ではあるが帯状であった。
- ・ 被害や痕跡から推定した風向に収束性を示す部分があった。
- ・ 激しい風はごく短時間であったという証言が複数あった。

(2) 強さ（藤田スケール）

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ 住家の屋根瓦のめくれや落下が複数みられた。
- ・ アンテナの倒れが複数みられた。

\* この資料は、速報として取り急ぎまとめたもので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。